

李大統領「日本はパートナー」

【ソウル＝松浦奈美】
韓国の李在明（イ・ジェミョン）大統領は16日、在韓日本大使館がソウルで開いた日韓国交正常化60周年祝賀行事に動画メッセージを寄せ、日本について「激動する国際情勢のなかで共に対応を模索する重要なパートナーだ」と話した。

李氏は16日、主要7カ国首脳会議（G7サミット）の関連会合に出席するためカナダに向けて出発した。石破茂首相との初の会談が予定されている。

李氏は動画で「先週、石破首相との電話協議で

日韓国交60周年でメッセージ

は新時代が求める未来志向の関係を作り上げることを話した」と述べた。「G7を皮切りに石破首相との間で信頼と友情を積み重ねる」と強調した。行事には超党派の日韓議員連盟（会長・菅義偉元首相）で幹事長を務める長島昭久首相補佐官が参加した。長島氏は冒頭に韓国語で自己紹介し、「緊密に意思疎通して協力の幅を広げていくことが必要不可欠だ」と話した。

韓国大統領府によると、長島氏は16日、李新政権で国家安保室長に就任した魏聖洛（ウィ・ソ

ンラク）氏と面会した。1965年に韓国と日本が国交を正常化して60周年の節目を22日に迎える。行事には両国の国会議員や財界人ら約1000人が集まり、祝辞を述べ合った。両国を象徴するアーティストも登壇し、文化交流の場も設けた。

開会に先立ち、ソウル日本人学校の小学生らが合唱を披露した。参加した6年生の男児（12）は「韓国の人は子どもに優しくしてくれる。日本と韓国が最高のパートナー同士になってほしい」と話した。